

特集!!夏季休業中の活動報告～3年間活動した参加者にインタビュー～

第7回全国高等学校小規模校サミット 3名参加

7月25日(木)～26日(金)に小国町を会場に全国小規模校サミットが開催されました。全国から100名を超える高校生が参加しました。

1年次から参加している3年次鈴木秀都さん(白鷹中出身)に話を聴きました。

Q参加しての感想

他県の高校生との交流が魅力です。同じ小規模校として同じような悩みを持っていたり、学校によって取り組みが違ったりと他県の状況を知ることができました。立地条件が違えば学校の特色が違うこともあるんです。山形県ではないけれども他県ではあるということを知ることによって、自分では見えなかったことに気づけたことで自分自身の視野が広がりました。

Q小規模校の魅力を再認識

自分の意見の生かされ方です。大きな集団では少数意見は生かされなかったり、否定されることがあると思うのですが、少数派の意見も取り上げられるということです。みんなと話し合っても否定しない、いいねと返ってきます。

Q3回の参加で成長したところ

リーダー性です。仲介役や指示役をすることが増えました。3年になり、自分から年次関係なく話掛けることができるようになりました。全体のまとめ役として集団を動かさなければならない時がありますが、「はじめます」という一声を自然に出すことができるようになりました。臆せず、いろんな意見を聴くことやいろんな意見を出すことができるようになりました。



第63回山形県吹奏楽コンクール 吹奏楽部4名参加

8月2日(金)高等学校小編成の部に参加し、銅賞をいただきました。



吹奏楽部部長の3年馬場眞結子さん(白鷹中出身)に話を聴きました。

Q吹奏楽の魅力

実は1年でやめようと思っていました。定期演奏会に参加して、楽しかったことが3年間続いた原動力です。ダンス&プレイも楽しかったです。終わった後も、楽しかったよと見に来ていただいたお客様から言っていたいただき、準備が大変だったけど、うれしかったし、楽しかったです。

芸術である音楽をしていることは人生を送る上で得していると思っています。吹奏楽はクラシックもポップスも多分野の音楽を演奏することができます。芸術の魅力がわかるようになりました。

Q3年間での成長

OB・OGの方が気にかけてくださり、練習に顔を出していただいて一緒に演奏して下さったり、レベルアップのための練習を指導して下さったり、話を聴いて下さったり。多くの先輩方とかかわる間に社会人としてのコミュニケーション力が身に付きました。

人としゃべれるようになりました。人前に出ることは得意でなかったのですが、最近は司会役を任せられることが多くなりました。大きく変わったことは、自分の“芯”ができたこと。人の意見に合わせていたけど、ここはこうしようという信念を持てるようになったと思います。意見をはっきり言えるようになったと思います。3年間吹奏楽部で経験してきたことが自信になったのだと思います。

第48回全国高等学校総合文化祭 清流の国ぎふ総文2024 囲碁部門

総合文化部囲碁班1名参加

8月4日(日)～5日(月)に岐阜県高山市で高総文祭囲碁部門の対局が行われました。総合文化部囲碁班に所属している3年安久津春加さんが山形県代表選手として出場しました。鹿児島・奈良・富山・沖縄・佐賀・香川県と戦い3勝3敗の結果でした。

総合文化部囲碁班部長安久津春加さん(沖郷中出身)に話を聴きました。

Q囲碁のおもしろさ

自分の好きな戦法で戦えるところ。日頃の練習では定石や戦法をコーチから指導いただいています。囲碁の専門用語でいうと、目を作って生かす練習をしています。

Q高総文祭に参加しての感想

練習してきた成果を出せたと、楽しかったです。大会では、他県の人としゃべったり、対局後にもう一度打ち直す感想戦をしたりできました。対局をふりかえり、こうした方がよかったとか、ここでミスったとか話をしながらできたことがよかったです。

Q3年間囲碁を続けて

楽しかったです。いろいろ話をしながら部活動ができました。聞いたら教えていただけたこともよい環境でした。大会に行くときは、コーチが「相手が強くても、自分の戦法で戦い、全力を出して負けてこい!」「間違っても取り返せる!」とプレッシャーを感じず大会に臨めたこともよかったです。

